

学校名	宮城県多賀城高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	普通科	募集定員	240人
-----	------------	----	-----	---------------	-----	------	------

求める生徒像

多賀城高校は「一人一人が生き生きと自分を伸ばせる学校」を目指し、創立以来、地域社会の期待に応えてきました。そして、多賀城高生は「自身を大きく成長させるための努力を惜しまない」高校生活を送ってきました。そこで、普通科では次の1～4に当てはまる生徒を求めます。

- 1 挨拶や言葉遣いなど、基本的な生活習慣が身に付いている生徒
- 2 中学校での学習への取り組みが良好で、その成果が優秀である生徒
- 3 自己の進路実現のために学習に真剣に取り組む、継続的に努力できる生徒
- 4 部活動や特別活動、生徒会活動等でリーダーシップを発揮し、積極的に活動する意欲のある生徒

特に、特色選抜においては、上記の2～4を重視します。

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜	➡	共通選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる学科・コース			災害科学科	なし
共通選抜			144人（募集定員の60%）	
学力検査：調査書			6：4	
<small>学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6：4とする。 ※調査書点：「5教科（国・数・社・英・理）の各学年の評定の合計」+「4教科（音・美・保体・技家）の各学年の評定の合計×2」</small>				
特色選抜			96人（募集定員の40%）	
I 配点 1 調査書 195点 ・ 国語、数学、社会、英語、理科……全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽、美術、保健体育、技術家庭……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 500点 ・ 国語、数学、社会、英語、理科……得点を1.0倍にする 合計 695点 II 選抜方法 ・ 審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する96人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。				

第二次募集（選抜方法等）

I 配点	面接・実技・作文
I 配点 1 調査書 195点 ・ 国語、数学、社会、英語、理科……全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽、美術、保健体育、技術家庭……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語、数学、英語（各教科100点満点） 3 面接 3段階評価（A～C） 合計 495点 II 選抜方法 上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 志望動機、中学校での活動状況など 4 観点 態度、表現力等

学校名	宮城県多賀城高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	災害科学科	募集定員	40人
-----	------------	----	-----	---------------	-------	------	-----

求める生徒像

多賀城高校は「一人一人が生き生きと自分を伸ばせる学校」を目指し、創立以来、地域社会の期待に応えてきました。そして、多賀城高生は「自身を大きく成長させるための努力を惜しまない」高校生活を送ってきました。

特に災害科学科では、課題研究や校外研修等を通して防災・減災・環境等に関する学びを深め、「命とくらしを守る」未来の創造者の育成を目指しています。

そこで、災害科学科では次の1～4に当てはまる生徒を求めます。

- 1 挨拶や言葉遣いなど、基本的な生活習慣が身に付いている生徒
- 2 中学校での学習への取り組みが良好かつ成果が優秀であり、特に数学・理科の成績に秀でている生徒
- 3 本学科への志望動機が明確であり、入学後も上級学校への進学を視野に入れつつ、継続的に努力できる生徒
- 4 部活動や特別活動等においてリーダーシップを発揮するとともに、互いの立場を考え、他者とのコミュニケーションを取ることができる生徒

特に、特色選抜においては、上記の2～4を重視します。

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜	共通選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース		普通科	面接
共通選抜		24人（募集定員の60%）	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 5分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) その他 4 観点 (1) 志望動機の明確さ (2) 表現力等 ※面接については、1日目に実施する。
学力検査：調査書		6 : 4	
学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6:4とする。 ※調査書点：「5教科（国・数・社・英・理）の各学年の評定の合計」+「4教科（音・美・保体・技家）の各学年の評定の合計×2」			
	特色選抜	16人（募集定員の40%）	
I 配点 1 調査書 195点 ・ 国語、数学、社会、英語、理科……全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽、美術、保健体育、技術家庭……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 600点 ・ 国語、社会、英語……得点を1.0倍にする ・ 数学、理科……得点を1.5倍にする 3 面接 3段階評価（A～C） 合計 795点 II 選抜方法 ・ 審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。			

第二次募集（選抜方法等）

			面接・実技・作文
I 配点 1 調査書 195点 ・ 国語、数学、社会、英語、理科……全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽、美術、保健体育、技術家庭……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語、数学、英語（各教科100点満点） 3 面接 3段階評価（A～C） 合計 495点 II 選抜方法 上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。			I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 第一次募集の内容に加えて中学校での活動状況等も聞く 4 観点 第一次募集と同じ